

伊丹市議会議員 おおつる 求 の活動報告



市民の想いがカタチに 今年4月から



中学校給食費 “無償化”

“異例な措置” 安定財源に不安を残しつつ

学校給食法により、給食に必要な設備や人件費等は学校設置者（市）が負担し、食材料費は保護者負担となっているが、中学校給食に限り、今年4月から市が食材費（約2億7千万円）も負担する。

また、小学校給食費も値上せず、食材料高騰分（約6千万円）を引き続き市が負担する。ちなみに小学校給食を無償化した場合、追加で約5億円が必要とのこと。

必要な約3億3千万円は、物価高騰対応として国から特別に配分された約8千万円と、財政調整基金（貯金）約2億5千万円を取崩す。

家計で言えば、臨時金と貯金を崩す生活と同じで“異例な措置”。以降の財源は未定。市長選（来年4月）を意識したのか、との声も。

本市の給食費

中学校給食費

一食当たり292円を徴収。
昨今の食材料高騰により、“無償化”せずだった場合今年度は322円/食に。

小学校給食費

一食当たり242円を徴収。
物価高騰分を市が補填。
今年度も値上しない



中学校給食センターの設備

「生きた教材」

有機野菜等を使った給食献立に挑戦

中学校給食では、農薬と化学肥料を使わない有機栽培による米や野菜を使用した献立（年2回）に挑戦する。

予算内で一定量の食材確保が必要なため、有機野菜などを栽培している県内市町と現在協議を重ねている。

市制記念日（11月）や、学校給食週間（1月）の実施を目指す。

就労自立(公的就労支援)と生活自立(公営居住支援)

「重層的”なりわい支援”のパッケージ」



写真提供:いたみワーカーズコープ

本市の生活困窮者支援窓口「くらし・相談サポートセンター」(☎072-780-4344)は、相談日から食料・生活・就業支援を、オーダーメイドの伴走型で行っており、全国的にも先進的と評価を受けている。

生活困窮者支援に市営住宅の活用始まる

就労支援と住居確保の同時提供で、自立プランが立てやすく、困窮から早く脱することが期待されることに加え、困窮から脱した後の見守りや生活定着支援を行うことも可能となる。一方でエレベーターの無い市営住宅高層階は希望者が少ない傾向にあるため、空室の有効活用という面も。



住民の悩み、困りごとは多岐にわたり、一人として同じ案件は無い。成果を数字では表しにくい分野だからこそ、生活困窮者支援を含む「地域福祉施策」は大変重要だ。

市長は「顔の見える関係づくり、認め支え合うことが可能なまちづくりを通じて、地域の中で自分らしく暮らしていける共生福祉社会実現をめざす」と想いを述べた。

猛暑対策

すべての学校体育館に空調設置へ



体育活動時の熱中症予防や、大規模な自然災害時における避難所環境の向上を目的として、全小学校・中学校・市立伊丹高校の体育館に空調設備を設置することとなった。

*神津小学校は先行実施済み

	小学校	中学校
2024年11月 ～25年2月	南・笹原・瑞穂 天神川・荻野・池尻	東・西・南 天王寺川
2025年の 夏休み期間	伊丹・稲野・緑丘・桜台 有岡・花里・摂陽・鈴原 昆陽里・鴻池	北・松崎・荒牧 笹原・伊丹高校

能登半島地震の教訓 備蓄品を再考・拡充

甚大な自然災害時、避難者1万5千人を想定する本市。

アルファ化米やペットボトル水など4万5千食、マット580枚、毛布1万5千枚、テント型間仕切800基、段ボールベッド290個、体温計やマスク、消毒液などを備蓄倉庫や各小中学校・共同利用施設などに分散備蓄している。

今後、発電機や簡易トイレキットなど備蓄品の拡充や、新庁舎前市民広場の地下スペースも有効活用しながら保管を図る。



誰かの犠牲で成り立つ市民サービス 「民間だと安い」カラクリと市の責任

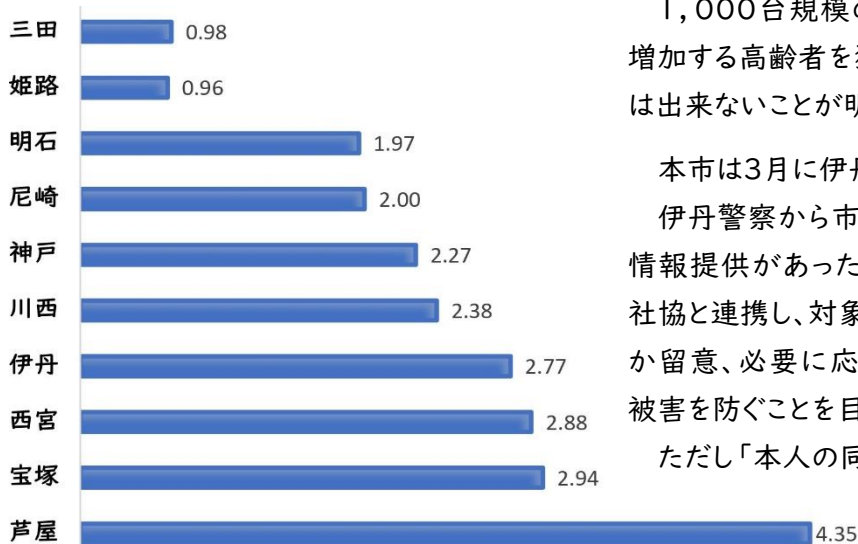
文化会館、伊丹ミュージアム、音楽ホール、演劇ホール、昆虫館、スポーツセンターなど文化・スポーツ施設等の管理・運営をおこなう（公財）いたみ文化・スポーツ財団が、2022年に続き、昨年10月にも伊丹労働基準監督署から労働基準法違反等で是正勧告を受けていたことが市の監査で分かった。

当財団は市幹部職員OBが理事を務める外郭団体で、非公募で主要公共施設を指定管理している。2022年9月の是正勧告は、月に超勤100時間以上が5名、内4名は複数月で平均80時間超えが理由だった。2023年7月、議会において「今は改善策がとられている」と弁明していたが、すぐ後に、別施設での超勤等で2回目の是正勧告があったことになる。

本市は福祉施設、駐車場や公園など約160施設に指定管理者制度（運営委託）を導入し、ごみ収集や発送作業など民間委託業務も多岐にわたる。財政部局曰く、「その数は誰も把握していない」。

「民間にお願いすればコストが下がる」のはなぜか。市庁舎で働く職員さんの約4割は非正規。誰かの犠牲で成り立つ市民サービスの実態。市はもちろん、私たちも真剣に考える必要がある、と思う。

過去5年間の特殊犯罪認知総件数を
1,000世帯当たりで計算すると・・・



特殊詐欺被害防止協定を締結

1,000台規模の街中防犯カメラを設置しても、増加する高齢者を狙った特殊詐欺被害を抑えることは出来ないことが明らかになった。（左グラフ参照）

本市は3月に伊丹警察と協定を締結した。

伊丹警察から市に「被害にあうリスクが高い」と、情報提供があった場合、地域包括支援センターや社協と連携し、対象者が被害に遭うなど様子がないか留意、必要に応じケアマネ等が福祉的支援で、被害を防ぐことを目的とする。

ただし「本人の同意」が必須条件となる。

【グラフは県警資料から作成】

フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- 稲野自治会恒例の新春三世代餅つき大会 大盛況。
- 小・中学校卒業式に参列。コロナ禍で不自由な学生生活だったと考えると胸にくるものが。みんなに幸あれ!
- 第19回全国高等学校なぎなた大会がスポセン体育館で。
- 新しい家族。 #保護猫と暮らす #ボクになつかない
- 近畿中央病院“跡地”説明会には、立ち見ができる超満員。関心の高さを可視化した。



【小学生夏休み限定企画】

バス乗り放題乗車券

市は、夏休み期間に市バス全線と阪急・阪神バスの市域路線が乗り放題になる市内小学生限定乗車券(1,000円)を、7月1日から販売する。

また購入者が参加できる市内対象施設スタンプラリーも企画中。

隠れた需要の掘り起こしを目指す。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

伊丹市議会議員 **おおつる 求**

090-8122-7114 <http://ootsuru.com>



- 【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
- 近畿大学法学部法律学科卒
 - 国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加
 - 中川智子衆院議員(前宝塚市長)秘書
 - 建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
 - 2015年市議選に社民党公認で当選。19年再選、23年3選
 - 会派「フォーラム伊丹」所属
 - 稲野自治会役員
 - 防災士

日々雑感

- 能登半島地震被災者も思うー。17。万博予算、人材を被災地へ届けよう。
- 伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団が目の前に。年に一度の議場コンサート。
- 年齢・性別・障がい有無問わない競技、”ボッチャ”。まさに地上のカーリング。
- 記憶に、知ら、分から「無い」政倫審。政治不信になるのは当然だが、その議員を選んだ私たちが有権者も問われている。
- 兵庫県パートナーシップ制度に期待。
- 市内の居場所活動団体が連携した「からふるいたみ☆こどもネットワーク」
- 市民の自主的な新しい動きに期待大。
- 市議会は予算書も完全ペーパーレス。データを印刷してチェックするボクラ。
- 国指定遺跡「田能遺跡」。こんな近くに、こんなスゴイものが、それも無料で。クリーンランド横の田能資料館を満喫。
- びわ湖マラソンは40キロで関門閉鎖。「歩かないで完走」目標は次シーズンに。
- 5月1日から市議会議員生活10年目が始まる。これからも皆さんと共に。